



JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第 20 陣の記録 日本語コミュニケーション、日本文化交流 対象国:ベトナム、マレーシア

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、ベトナム、マレーシアから日本語を学んでいる学生 44 名が 2019 年 1 月 29 日~2 月 5 日の日程で来日し、「日本語コミュニケーション、日本文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、都内での日本理解講義の聴講、文化視察を行った後、国別のグループに分かれ、ベトナムは群馬県、マレーシアは兵庫県と大阪府を訪問し、それぞれテーマ関連の視察、関係者との意見交換、地域産業の視察、地方自治体への表敬を行いました。また、学校交流、ホームステイ等の文化体験を通じて、日本人との友好を深めるとともに、日本の魅力に直接触れる機会を持ちました。また、各々の関心事項や体験、日本の魅力について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン(活動計画)について発表しました。

【参加国・人数】 2 か国・44 名 ベトナム 23 名、 マレーシア 21 名 (大学生) 【訪問地】 東京都、群馬県 (ベトナム)、兵庫県・大阪府 (マレーシア)

2. 日程

	ベトナム	マレーシア
1月29日(火)	来日、【オリエンテーション】	
	【視察】皇居、秋葉原(ベトナム)	
1月30日(水)	【日本理解講義の聴講】	【地域概要の聴講】
	講師:明治大学地域ガバナン	講師:東京都大田区
	ス研究所 推進員	【地域産業視察】光写真印刷
	佐々木 一如 氏	株式会社、大田トランジット
	【文化視察】浅草寺、江戸東	(大田区商店街連合会)
	京博物館	
1月31日(木)	東京都より群馬県へ移動	東京都から兵庫県へ移動
	【表敬訪問】甘楽町役場	【地域産業視察】
	【世界遺産視察】富岡製糸場	高石工業株式会社
2月1日(金)	【文化体験】だるま作り	【文化視察】大阪城、
	【学校交流】群馬県立尾瀬高	大阪くらしの今昔館
	等学校	【学校交流】甲南大学
	【ホームステイ】片品村	【ホームステイ】神戸市等
2月2日(土)	【ホームステイ】	【ホームステイ】
2月3日(日)	【ホームステイ】、【地域住	【ホームステイ】、【地域住
	民・関係者との歓送会】、	民・関係者との歓送会】、

	【ワークショップ(報告会準	【ワークショップ(報告会準
	備)】	備)】
2月4日(月)	群馬県から東京都へ移動	兵庫県から東京都へ移動
	【成果報告会】	【成果報告会】
2月5日 (火)	【文化視察】明治神宮・原宿(ベトナム)	
	帰国	

3. プログラム記録写真

ベトナム (訪問地:東京都、群馬県)





1月31日【表敬訪問】甘楽町役場

1月31日【世界遺産視察】富岡製糸場





2月1日【文化体験】だるま作り

2月1日【学校交流】 群馬県立尾瀬高等学校





2月1日~3日【ホームステイ】

2月3日【地域住民・関係者との歓送 会】





2月4日【成果報告会】

マレーシア(訪問地:東京都、兵庫県)







1月30日【地域産業視察】光写真印刷株式会社、大田トランジット



1月31日【地域産業視察】 高石工業株式会社



2月1日【文化視察】大阪城







2月1日【学校交流】甲南大学





2月3日【地域住民・関係者との歓送会】

2月4日【成果報告会】

4. 参加者の感想(抜粋)

◆ ベトナム大学生

日本理解の講義はとても楽しく、興味深いものでした。日本学科の大学生として、ベトナムでは誰もが教えてくれない本当の日本の姿を知ることができました。尾瀬高校の自然環境課のカリキュラムには驚きました。皆が自然環境について、実際の観察と体験をできるようになっていることは、ベトナムではめったにないことで驚きました。

◆ ベトナム高校生

だるま絵付けはとても難しく、日本の職人さんはとても忍耐力があると感じました。そして、都市・地方を問わず自分の故郷について誇りを持っていると感じました。大浴場の利用方法も学び、初めてのスキーも体験することができて嬉しかったです。ホームステイ体験では、日常生活の一部を理解することができ、日本人を身近に感じました。日本の家族はとても熱心で、私たちのわからなかったことを一生懸命、丁寧に説明してくれました。

◆ ベトナム高校生

今回の訪日で一番楽しかった体験は尾瀬高校での交流です。尾瀬高校の皆さんはとても 親切でフレンドリーでした。自然環境科の内容は特徴があり、学生の皆さんの自然に対 する情熱が素晴らしいと思いました。また、役人は怖くて冷たいというイメージがあり ましたが、甘楽町の町長はとても親切で私たちに興味を持ってくれました。甘楽町の他 の職員の方々もとても親しみやすくて暖かい雰囲気でした。

◆ マレーシア大学生

大田トランジットでの講義で日本の技術や文化について新たに学ぶことができました。初めての来日で講義に感銘を受けました。実際に商店街や工場を訪れることもできました。これほど日本語で話した経験はありませんでしたし、初めて日本人の友人ができました。茶道は興味深く、とても楽しかったです。印刷工場は私の一番のお気に入りでした。私は本の虫で、電子書籍ではなく、本を読むことが好きです。だから、製本の仕方を学ぶことはとても良い経験でした。ホームステイは日本滞在でのハイライトでした。家族の皆さんはとても親切で温かい人たちでした。家庭の料理も堪能しました。次に来日する時には、皆さんと再会したいです。日本人の態度やマナーは素晴らしいと感じました。

◆ マレーシア大学生

甲南大学の学生と会話し、お互いの経験や文化を紹介し合いました。彼らが教えてくれた茶道は、日本の伝統で、お茶を飲むための複雑な手順を見せていただきました。ホームステイでは、日本の公共交通機関と障害者に優しい都市計画のおかげで、障害があっても家族は制限なく活動できることを学びました。日本人がルールを守り、公共交通機関への出入り口では、障害者を優先していることが分かりました。

◆ マレーシア大学生

東京の光写真印刷株式会社を訪問した時は、住宅地の中に工場があったのでとても驚きました。素晴らしい会社で、狭い場所の中で全ての作業工程が行われています。作業スペースは狭いですが、整理整頓がされています。同様のことが、高石工業株式会社でも見られました。日本の会社訪問で、とても視野が広がりました。日本人の働き方を見て啓発されました。日本人は本当に勤勉です。ホームステイでは、温かいホストファミリーと出会い、素晴らしいおもてなしを受け、美味しいご馳走をいただき、本当に忘れられない思い出となりました。

5. 受入れ側の感想(抜粋)

◆ 学生(群馬県立尾瀬高等学校)

私は1年生の時に、JENESYS派遣事業で、ベトナムに行きました。そこではベトナムと日本の文化の違いについて学ぶことができたほか、ベトナムの印象や日本の印象などを伝え合ったりしました。今回は、日本で日本の文化、尾瀬高校の特色を伝えることが出来、とても有意義な時間になりました。今回の交流を通してベトナムの学生はとても勉強熱心だということがわかりました。ベトナムの学生は授業時間が日本と比べて2~3時間も多く、さらに映画クラブやイベント報告クラブなど日本の学校にはない活動があり、日本の学校との違いを学ぶことが出来ました。日本語もとても上手で同じ学生でここまで違うのかと思いました。今回の交流を通して、改めてベトナムの学校の特色や文化についてたくさん学ぶことが出来ました。私たちはもっと日本の文化に興味を持って、伝統を守って行くべきだと思いました。ここまで日本に興味を持って下さる海外の方たちにありがとうと伝えたいです。

◆ ホストファミリー (兵庫県)

初めてのイスラム教徒の受け入れは、大変勉強になりました。食事はハラールの食材の 入手が難しいこともあり、日本食をあまり作ることが出来ませんでしたが、とても礼儀 正しいマレーシアの学生達でしたので、楽しく交流をすることができました。お祈りを する姿に、娘が自然に文化の違いを感じていて、嬉しく思いました。

◆ 学生(甲南大学)

大学のプログラムで一度マレーシアに行ったことがあり、行った時の感想も含めて交流できたらいいなと思っていました。実際に交流すると、マレーシアの方々から「日本は話に聞いていた通り綺麗でびっくりしたんだけど、マレーシアはどんなところだと思って行った?実際はどうだった?」などの質問をされたり、日本の文化について事前に知っていることや調べたことを教えてくれたり、文化や国そのものに興味を持ってくれていることや、自分の国がどう見られているのかを知りたがっていました。日本に住んで

いる私たちよりも日本文化に興味をもっていてくれている印象を受け、私たちももっと自分の国の文化を発信できるようになりたいと感じました。交流した方々は積極的に日本語を話そうとしていて、私の拙い英語を一生懸命に聞き、何とかわからないことをわかろうとしてくれる姿勢に温かさを感じました。連絡先も交換したので、今回の交流に限らずこれから是非もう一度マレーシアに行きたいと思います。また、文化交流をする際には何か一つでも日本のことを知ってもらえるようなことを、まずは自分なりに一つ持ちたいと考えるようになりました。

6. 参加者の対外発信



(ベトナム)日本の文化は長い歴史の中で 培われてきたものと、そこから生まれた新 しいものとを組合わせたものです。だるま の絵付けを体験し、その伝統に触れること ができました。日本の伝統と文化を守る仕 事とその職人の皆さんを尊敬しています。



(ベトナム) 以前から日本人が親切であることを知っていますかが、ホームステイのお母さんがこんなに可愛いとは初めて知りました。片品での2日間は、たくさんの思い出を作るのには時間が足りないくらい一番いい思い出でした。



(マレーシア)新田神社で参拝しました。 サムライの歴史も学びました。



(マレーシア) ホストファミリーの皆さん、受け入れてくれてありがとう、昨日はとても楽しかったです。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表





【ベトナム】日本で得られた経験や知識を活かし、ベトナムの人々の意識改革を行い、日本とベトナムの友好関係に貢献するため、テーマ「Genki kirei」してアクション・プランを実施します。

- ・帰国後、Facebook でファンページを作り、プログラム中の気づき、体験、学んだこと、日本人が健康を守るために実施している方法についての記事を投稿します。
- YouTube に、手の正しい洗い方の動画等 を載せます。

SHIN MIRACLE

OBJECTIVE

- To create awareness or exposure of the cleanness among Malaysians
- To preserve the heritage site and Malaysian's cultures especially tourism spots
- To adopt the Japanese culture in Malaysia: Appreciate history, improve cleanliness, and good manners

WHAT ARE YOU PLANNING IT?

- 1. Proposal (Paperwork) -> Pinang Consulate
- 2. Sponsorship (TOSHIBA, Consulate General of Japan)
- 3. Promotion (Distribute or Advertise)
- 4. Execute
- 5. Feedback from visitors/participants
- 6. Post-mortem
- 7. Reporting Session

【マレーシア】マレーシアへ戻り、新しい 奇跡を起こすプログラムを行いたいの で、タイトル「新・ミラクル」として実施 します。

・日本文化を取り入れ、マレーシアで、 清潔さやマナーを普及したいと思ってい ます。マレーシアにある日本企業やNGO からの支援が得られるようお願いしたい と考えています。

具体的には、3つ活動をします。

- 小学生に私たちが広めたい内容をテーマにした絵を描いてもらい、展示します。
- ② 史跡を掃除します。
- ③ マレーシアの伝統的なゲームを用いて、一般市民に参加してもらう活動をします。ペナンの領事館へこの企画を届けたいと考えています。